

第5回国際日本語 OPI・シンポジウム ベルリン 2006

2006年8月24日(木)～26日(土)

ベルリン日独センター

(Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin, Saargemünder Str. 2, 14195 Berlin, Germany)

Az: P1107@PG-J
as of July 6, 2006

8月24日(木) 前夜祭・ポスター・セッション・欧州日本語 OPI 会員総会

14:00 テーマ別 ポスター・セッションI

セミナー・ルーム1 日本語能力試験 can-do-statements (試行版) の IRT 尺度化と日本語能力試験の得点段階との対応付けの試み 1/3
野口裕之、熊谷龍一、大隅敦子、石毛順子、長沼君主

セミナー・ルーム2 外国人の語りに見られる参加の軌跡—少数派在日外国人の学びのネットワーク(1/2)
森下雅子

16:00 - 18:00 J-OPI-E 欧州日本語 OPI 研究サークル 総会

<議題>

- 1) 「J-OPI-E 欧州日本語 OPI 研究サークル」執行委員選挙
- 2) (非公式)「定款」確定
- 3) J-OPI-E のプロジェクト・研究会活動についての方針決定：
プロジェクト第一弾「OJAE Oral Japanese Europe 欧州日本語口頭表現能力評価法—作成具現化へ向けて」(仮題)を中心に

19:00 - 21:00 J-OPI-E 前夜祭/懇親会

Restaurant of Hotel Ramada, Prager Platz, 10779 Berlin
(希望に応じて:本懇親会参加費は別途徴収)

8月25日(金) シンポジウム第一日目

9:00 受付

9:30 開会式

司会 酒井康子 (J-OPI-E ドイツ シンポジウム副実行委員長・ライプチヒ大学)

挨拶 上田浩二 (ベルリン日独センター副事務総長)
Dr. 山田ボヒネック頼子准教授 (J-OPI-E 総代表・実行委員長・ベルリン自由大学)
Prof. Dr. Verena Blechinger-Talcott ベレナ・ブレヒンガー・タルコット (ベルリン自由大学代表)
牧野成一教授 (ACTFL 日本語 OPI トレーナー・プリンストン大学)
高野俊之大使 (ベルリン日本大使館、依頼中)
ブレット・ラブジョイ (事務総長 ACTFL)

10:00 - 12:30	基調講演 Language Universalities and Limitations in the CEFR-Framework: how can the CEFR-Scale be applied to a Non-European Language such as Japanese - specifically in assessing Oral Proficiency? (<i>Presentation in English</i>) Dr. Brian North ブライアン・ノース (Head of Academic Development, Eurocentres Foundation / Chair, EAQUALS - European Association for Quality Language Services)
11:00	休憩
11:30	ポライトネス理論にみる言語普遍性と日本語談話行動に顕れる固有性 Dr. Ed. 宇佐美まゆみ (東京外国語大学教授)
12:30	昼食 ベルリン自由大学ゲスト食堂 Freie Universität Rostlaube (徒歩片道約10分)
14: 00 -17: 00	パネル・ディスカッション「ACTFL 日本語 OPIと欧州 CEF 準拠口頭能力評価法の接点を探る - 米スタンダード、欧州スタンダード、日本語教育スタンダード -」(日本語)
司会	嶋田和子(日本語 OPIトレーナー、East West 日本語学校副校長)
コメンテーター	① 伊東祐郎(東京外国語大学教授) ② シンポジウム参加中の OPIトレーナー
OJAE 提唱者	OJAE (Oral Japanese Assessment Europe:仮題)構築プロジェクト企画へ向けて 山田ボヒネック頼子 (欧州 J-OPI-E 総代表、ベルリン自由大学准教授)
パネリスト	① Technology-mediated Assessment of Speaking: The STAMP (Standards-based Measurement of Proficiency) Test Dr. Carl FALSGRAF カール・フォルス グラフ (STAMP 日本語スピーキングテスト研究所 所長、第二言語習得研究センター所長、オレゴン大学中国語 K-16 Flagship プログラム作成 監修) ② 「国際交流基金 口頭能力試験開発」の展望—中上級発話テスト開発プロジェクトから技 術研修生を対象とする初級発話テスト開発に至る経過を踏まえて 庄司恵雄 (お茶の水女子大学教授) ③ 日本語能力試験における言語能力の記述と得点解釈基準の設定 - 現行日本語能力試 験による得点解釈基準設定法の検討と新しい日本語能力試験における能力基準設定に 向けて 野口裕之 (名古屋大学教授) ④ プロフィシエンシーと言語活動遂行能力」という視座からの一提案 鎌田 修 (日本語 OPIトレーナー、J-OPI-E 顧問、南山大学教授) ⑤ 欧州 CEFRと口頭能力測定試験: ノンネイティブ日本語教師からの考察 Silvana DE MAIO シルヴァーナ・デマイオ (ナポリ国立大学「オリエンターレ」)
15:40 - 16:00	休憩
17:00 - 18:20	ポスターセッション II + 研究者間シナジー・セッション I
セミナー・ルーム1	日本語能力試験 can-do-statements (試行版) の IRT 尺度化と日本語能力試験の得点段階と の対応付けの試み (2/3) 野口裕之、熊谷龍一、大隅敦子、石毛順子、長沼君主
セミナー・ルーム2	外国人の語りに見られる参加の軌跡—少数派在日外国人の学びのネットワーク (2/2) 森下雅子

教室28号室 + 教室 29 号室 研究者間プロジェクト企画案呈示 + シナジー・セッション (1/2)

(プロジェクト企画案を持ち、「この指とまれ！」の号令をかけたい人たちの時間帯! 奮ってご参加ください。)

- 希望者は、予め「企画タイトル」をシンポジウム会場に掲示

一例 「OJAE プロジェクト作成チームの希望者を募る! →顔合わせ→企画案構築」
山田ボヒネック頼子 (ベルリン自由大学・J-OPI-E 総代表)

18:20 - 22:00 国際日本語 OPI 懇親会ベルリン運河遊覧船上*にて *チャーター船ではないので、くれぐれも**バス**搭乗時間厳守のほど!

出迎えバス出発 18:20 > コーネリウス橋へ > 19時 Reederei Riedel 遊覧船に搭乗 > 運河から愉しむベルリン風景・船上の食事と懇談(3時間) > コーネリウス橋到着 > **下船・解散(22時)**

運河遊覧船会社 Riederel Riedel (独・英・仏語案内あり) <http://www.reederei-riedel.de/>

バーチャル版! ベルリン運河遊覧(下記のサイト訪問にてお楽しみ下さい!)

http://www.berlin.de/boot/english/content_pages/tourstart_e.html**8月26日(土)** シンポジウム第二日目**9:10 - 9:50** ポスターセッション(最終回) + シナジー・セッション(最終回)

セミナー・ルーム1 日本語能力試験 can-do-statements(試行版)のIRT 尺度化と日本語能力試験の得点段階との対応付けの試み(3/3)

野口裕之、熊谷龍一、大隅敦子、石毛順子、長沼君主

セミナー・ルーム2 シナジー・セッション: OPI フォラム - 「日本語プロフィシエンシー教育」を考える

① 山田ボヒネック頼子 (ベルリン自由大学) 『漢字脳化』から始まる日本語プロフィシエンシー教育 - KanjiKreativ 採択日本語授業の実践と考察 - 常用漢字 1945 字(意味・形のみ)を『先ず脳に刻印』『漢字圏 vs. 非漢字圏』の脱神話化

教室28号室 ② 鎌田 修 (南山大学) 「南山日本語教育シンポジウム: プロフィシエンシーと日本語教育 - 日本語の総合的能力の研究と開発を目指して -」

教室29号室 ③ 前日「シナジー・セッション」の続き

10:00 - 12:30 OPI デモンストレーション、参加者評価、コメンテーター評価

< OPI トレーナーによるデモ・会場参加者全員の評価票集計・結果発表・コメンテーターより総合評価 >

司会: 内田コンシニイ陽子 (J-OPI-E フランス代表)

デモンストレーション: 齊藤真理子 (OPI トレーナー・文化女子大学)

コメンテーター: 渡辺素和子 (OPI トレーナー・ポートランド州立大学)

12:30 昼食 前日同様 ベルリン自由大学ゲスト食堂 Freie Universität Rostlaube (徒歩片道約10分)

14:00 - 18:00 OPI 研究発表: 個人・グループ研究発表

(15:30 まで二会場。休憩終了 16:00 以降は、全体セッションとして会場ホールにて)

セミナー・ルーム1

- 司会: 高木三知子 (J-OPI-E ベルギー実行委員)
- 14:00 ① OPI データを用いた日本留学による日本語習得の測定: 文構造の複雑さ、流暢さ、モダリティ・マーカーの使用
岩崎典子 (カリフォルニア大学(デービス)・渡辺素和子 (米国オレゴン州ポートランド州立大学))
- 14:45 ② 日韓高校生の日本文化の捉え方と OPI における非言語行動
山根智恵 (山陽学園大学)・難波 愛 (同)・奥山洋子 (韓国同徳女子大学)

セミナー・ルーム2

- 司会: 村上フレーデンハーゲン淳子 (J-OPI-E スイス実行委員)
- 14:00 ③ 言語教育プログラム改革における CEFR と OPI - 日本の一大学における到達度評価制度からテスト開発への実践研究
真嶋潤子 (大阪外国語大学)
- 14:45 ④ 母語話者テスターと非母語話者テスターのプラスとマイナス
Dr. Kiril RADEV キリル・ラデフ (ブルガリア・ソフィア大学)
- 15:30 休憩 (休憩後は、ホールに全員集合)

ホール会場

- 司会: 萩原幸司 (J-OPI-E フランス 実行委員・プロヴァンス大学)
- 16:00 ⑤ 文系学部留学生に期待される日本語プロフィシエンシー: スピーキング・クラスの成果に基づいた『3年間教育到達度構築』への試案
由井紀久子 (京都外国語大学)・坂口昌子 (同)
- 16:45 ⑥ 日本語能力試験 Can-do-statements (試行版) と CEFR-Dialang との対応付けの試み
大隅敦子・野口裕之・熊谷龍一・石毛順子・長沼君主・和田晃子・伊東祐郎
- 17:30 発表全般についての討論

18:00 閉会式

「来年度国際シンポジウム開催へ向けて！」

- 司会: クラフト増井良子 (J-OPI-E オランダ シンポジウム実行委員・ライデン大学)

<支援団体>

ベルリン自由大学
国際交流基金
ケルン日本文化会館(依頼中)
アメリカ言語評議会 ACTFL

<後援団体>

日本大使館
社団法人 日本語教育学会

ベルリン日本語教育研究会 JAF-FORUM BERLIN
欧州言語評議会